

市内特別  
郵便

# さば和則

県政REPORT

No.35

佐波和則オフィシャルサイト [www.saba-3839.jp](http://www.saba-3839.jp)



## 安全・安心、夢と希望があふれる愛知



9月定例議会は、9月21日～10月16日まで開かれ、一般会計で59億2,341万余円の補正予算案、条例関係議案、意見書などを審議し、すべて可決成立しました。補正予算の主な内容では、今年の夏の猛暑を踏まえ、県立特別支援学校の空調設備の整備前倒しや、県有施設における建築基準に適合しないブロック塀の撤去費、あいち航空ミュージアムにおける新たな展示機体の設置費ならびに交差点の道路標示・標識の更新や信

号灯器のLED化等に要する経費などが計上されました。なお、9月27日の代表質問において、今後の県政に対する想いを問われ、大村知事は「議会と連携しながら責任を担っていきたい」と答弁し、三選出馬への意欲を示しました。また、閉会日の10月16日には、新政あいち県議団として、地域に根ざした政策の実現を目指して、来年度における「政策提言書」を知事に提出しました。

### 主な議案

#### 県立特別支援学校の空調設備の整備の前倒し

県立特別支援学校の空調設備の整備計画を1年前倒して実施します。この整備計画により、普通教室・特別教室合わせて978室に空調設備を整備します。既に整備済みの759室（普通教室540室、特別教室219室）と合わせ、特別支援学校のすべての普通教室・特別教室1,737室に整備する計画です。

普通教室 (603室)				特別教室 (375室)			
区分	H30年度	H31年度	H32年度	区分	H30年度	H31年度	H32年度
当初計画	340室	255室	8室	当初計画	13室	0室	362室
前倒し実施後	595室	8室	0室	前倒し実施後	13室	362室	0室

#### コンクリートブロック塀の撤去について

県有施設におけるコンクリートブロック塀の緊急点検に基づき、建築基準法施行令に適合しないブロック塀は、平成30年度中に全て撤去します。

区分		平成30年度事業費	
庁舎等	(行政庁舎、公共施設等)	24施設29か所	1,217m
公営企業	(水道事務所、県立病院等)	5施設7か所	720m
県立学校	高等学校	117校300か所	8,760m
	特別支援学校	21校54か所	707m
	小計	138校354か所	9,467m
警察施設		45施設57か所	1,335m
計		212施設447か所	12,739m

#### あいち航空ミュージアムに新たな展示機体を設置 (平成31年2月頃)

今年11月末にオープン1周年を迎えるのを機に、航空機産業の情報発信や人材育成の機能を一層強化するため展示機体の充実を図ります。

- ・EH-100 (警視庁退役ヘリコプター)  
三宅島噴火の慰問の際、今上陛下がご搭乗、警視庁と名古屋空港との間で、災害時に連携する覚書締結
- ・零戦五二型実物大模型  
佐賀県の板金職人が製作したジュラルミン製の実物大模型 (映画「永遠の0」で使用)



#### 愛知県庁本庁舎の安全対策

屋根の緊急補修や落下防止を実施し、国の重要文化財としての保存活用を図ります。



# 代表質問要旨

## Q あいち重点政策ファイル300プラス1について (知事自身の評価と来期に向けての考え)

知事

産業力の強化とイノベーションの創出「すべての人が輝く愛知」の取り組みなど300項目すべての政策について着実に成果を重ねてきました。議会と連携しつつ、2022年度のジブリパークのオープン、2026年のアジア競技大会の開催、2027年度のリニア開業など、日本の未来を形作るビッグプロジェクトを成功に導き、日本をリードする未来の愛知の発展における責任を担っていきたいと思います。



## Q サイバー犯罪対策について

警察本部長

サイバーセキュリティ戦略の制定、情報技術戦略課の新設などで体制を強化しました。また、重要インフラや中小企業等と連携したネットワークを構築し、最新手口の情報共有や対処訓練、中小企業のホームページのセキュリティ診断など、被害の未然防止及び拡大防止を図っています。人材育成については、サイバー捜査能力検定や高度な捜査能力を有する技能指導官による指導、研修などで能力の向上を図っています。



## 愛知県地球温暖化対策推進条例の制定

愛知県は、今後の温室効果ガス削減策の方向性などを盛り込んだ「あいち地球温暖化防止戦略2030」を本年2月に策定し、戦略で定めた目標の達成に向けて、地球温暖化に特化した条例として「愛知県地球温暖化対策推進条例」を新たに制定しました。

今後は、県・事業者及び県民の皆様の責務を明らかにするとともに、各主体が自主的かつ積極的な取り組みを行うことで、温室効果ガス総排出量の削減に努めていきます。

### 県の責務

総合的な施策の策定及び実施、市町村、事業者、県民等と連携した施策の実施

### 事業活動における地球温暖化対策

エネルギーの使用の合理化等、地球温暖化対策計画書の作成等

### 日常生活における地球温暖化対策

生活様式の見直し、電気機器の購入者に対する説明

## あいち森と緑づくり税の課税期間の延長

「あいち森と緑づくり事業」を継続し、その財源である「あいち森と緑づくり税」について、県民税均等割の税率の特例措置の適用期間を5年間延長します。



### 個人県民税均等割

超過課税として年額500円加算

### 法人県民税均等割

超過課税として5%加算  
(年額1,000円～40,000円)

### 〈あいち森と緑づくり事業の主な取り組み〉

人工林整備、里山林整備、都市緑化推進、環境活動・学習推進、普及啓発

### 〈森林環境譲与税(仮称)との役割分担〉

県は、「あいち森と緑づくり事業」により、市町村は「森林環境譲与税(仮称)」により間伐等を進め、相互に補完し合いながら、本県の森林の公益的機能の発揮に取り組む。森林環境譲与税(仮称)は平成31年度から譲与。森林環境税は平成36年度から課税(個人1,000円/年額)。

県政を取り巻く状況

## 「FLIGHT OF DREAMS」オープン！

ボーイング787初号機の展示をメインとした複合商業施設「FLIGHT OF DREAMS」(フライト・オブ・ドリームズ)が中部国際空港にオープンしました。施設内ではボーイング787型機の展示に加え、旅客機の組立工場を再現するなど、航空について楽しく学べるコーナーも設けられています。



トピックス

## 「センポ・スギハラ・メモリアル」一般公開開始！

第二次世界大戦中に「命のビザ」を発給し、ユダヤ人を救った外交官「杉原千畝」の功績をたたえ建設された施設「センポ・スギハラ・メモリアル」が完成し、10月13日より一般公開されました。施設中央にユダヤ人家族にビザを手渡す銅像が設置され、杉原千畝の生涯や功績に触れることができる施設になっています。

